

整備の方向性

水際線の5つのエリア

水際線の5つのエリアで、それぞれの特性を活かしながら、魅力を高めるまちづくりを進めていきます。

5
山下公園
エリア

4
象の鼻
エリア

3
赤レンガ
エリア

2
ハンマーヘッド周辺
エリア

1
臨港パーク
エリア



画像 ©2025 Google、地図データ ©2025

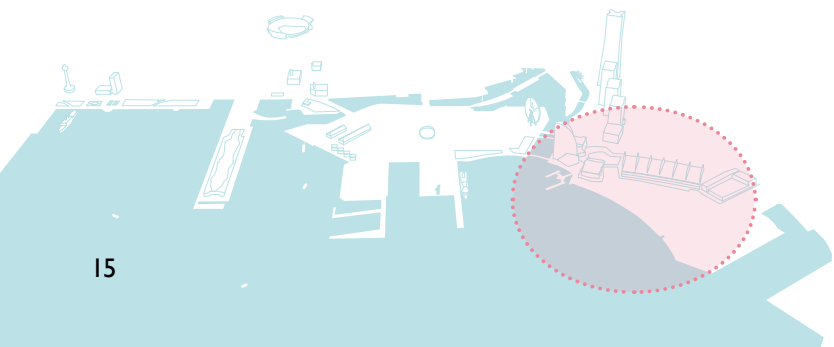


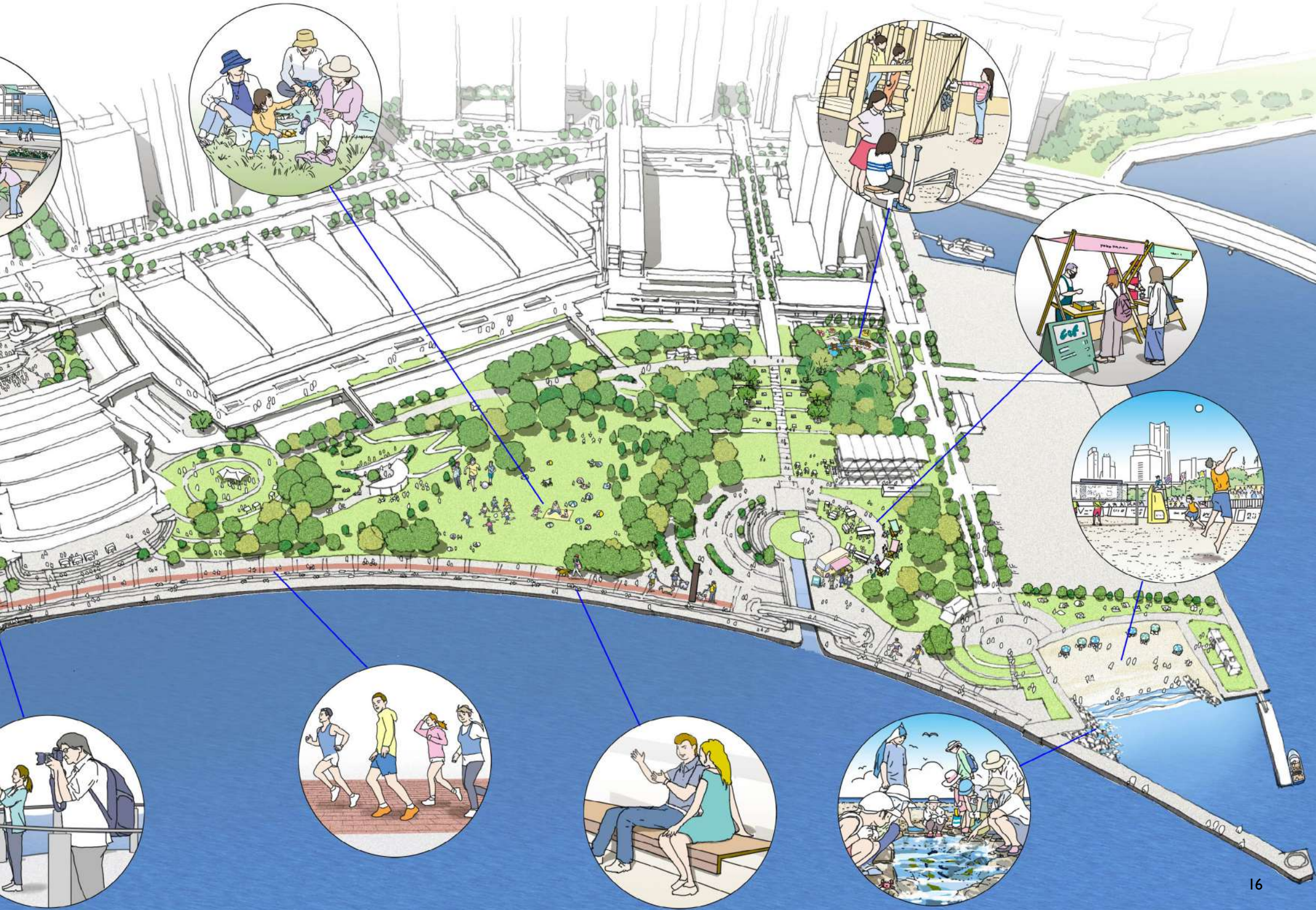
臨港パークエリア

臨港パークエリアは、水際線随一の広さを誇る開放感あふれる緑豊かな場所です。ピクニックやジョギング、犬の散歩など、子どもからシニアまで、多くの市民に親しまれています。訪れる人々が思い思いのスタイルで楽しめる緑地として、居心地の良さを高めていくとともに、エリア内にある横浜ティンバーワークやぷかりさん橋などの滞在施設、広々とした芝生広場、美しい海辺の眺望を活かした花火大会やナイトマーケットといった多彩なイベントなどにより、市民をはじめ、観光客や隣接する MICE 施設に訪れた人も惹きつける場所としての価値も高めていきます。

日常の憩いと特別な体験が共存するエリアへと進化させていきます。

※パース画像については、整備イメージとなりますので、仕様やデザイン、位置等は今後変更となる場合があります。





1. 臨港パークエリア



横浜ティンバーワーク

遊具の設置

ベンチの設置

view 1 : 子どもから大人まで憩える空間の創出





横浜ティンバーワーク

歩行者通路の拡張

ベンチの設置

view 2 : 水際線へ誘う動線の強化

1. 臨港パークエリア



view 3 : 滞在場所と歩行者動線の整備





view 4 : 先へと誘う空間づくり



view 5 : ビュースポットの設置

1. 臨港パークエリア



view 6 : エリアのつながりの強化





臨港パークに訪れた来街者が、飲食やレクリエーションなど、多様な過ごし方ができる新たな魅力集客施設を整備するとともに、パシフィコ横浜や臨港パークに訪れた方々が、MICEやイベントの前後に周辺施設を巡り、飲食などを楽しめるよう、施設と連携した取組を推進していきます。



1. 横浜ティンバーワーフ

水際線の景色を楽しめるカフェやレクリエーション施設として、2025年10月にオープン。夜空の下で映画を楽しんだり、季節ごとのイベントでにぎわいを創出します。



外観



イメージ

2. 臨港パーク 来街者施設

豊かな自然に包まれながら、心安らぐひとときを過ごせるカフェや、アウトドアアクティビティを楽しめる場を創出します。



外観



イメージ

3. ぶかりさん橋 (みなとみらいさん橋及び同付属旅客施設)

音楽とともに上質な時間を過ごせるバー、海風を感じながら過ごせるテラス席の設置など、日常から少し離れたラグジュアリーな体験ができる場を創出します。



外観



イメージ





2

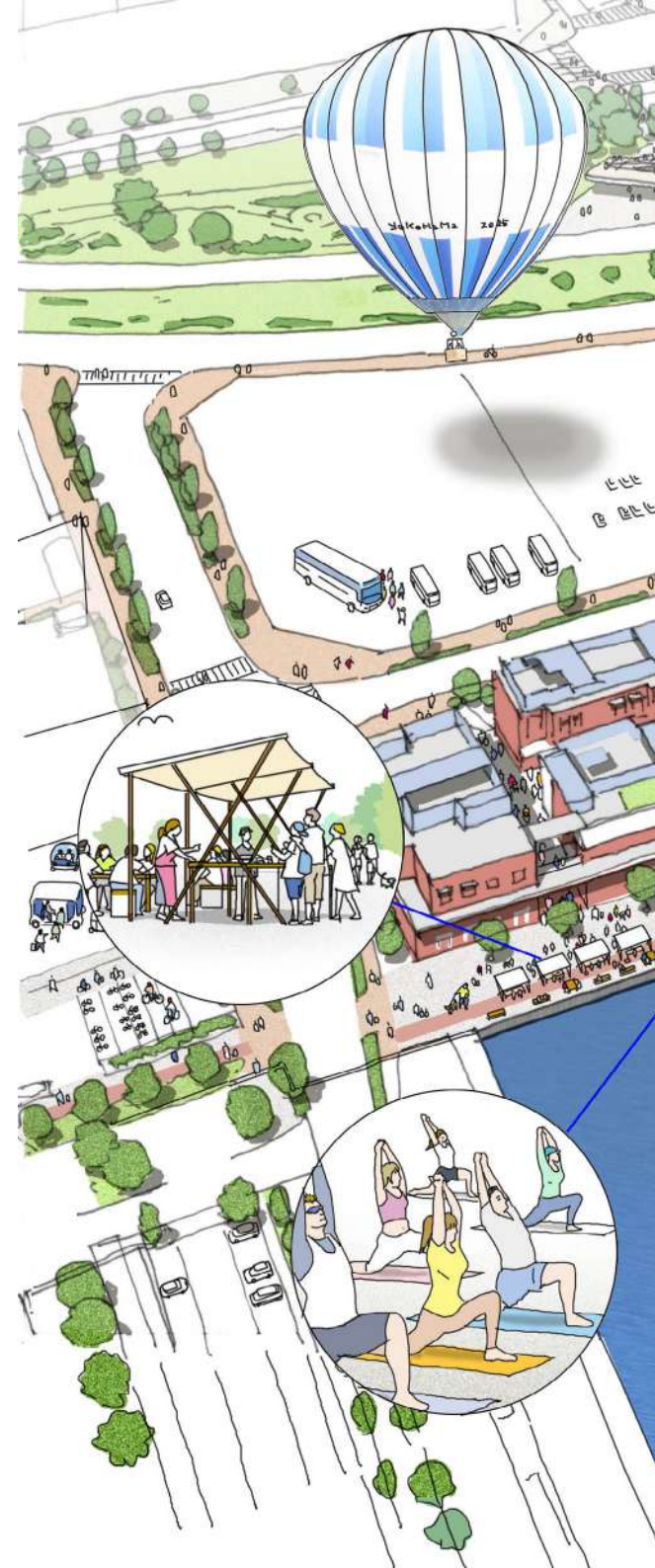
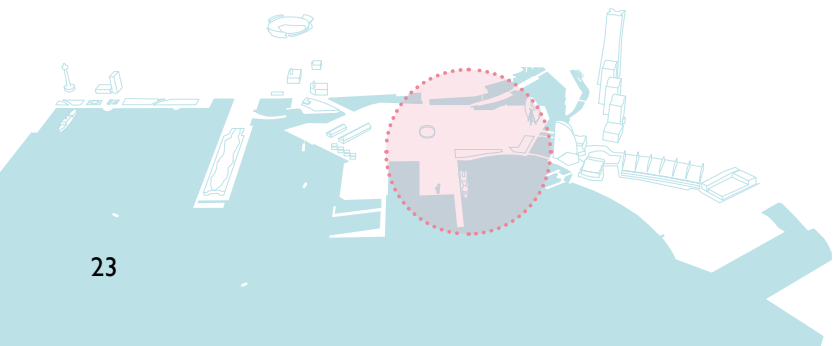
ハンマーヘッド周辺エリア

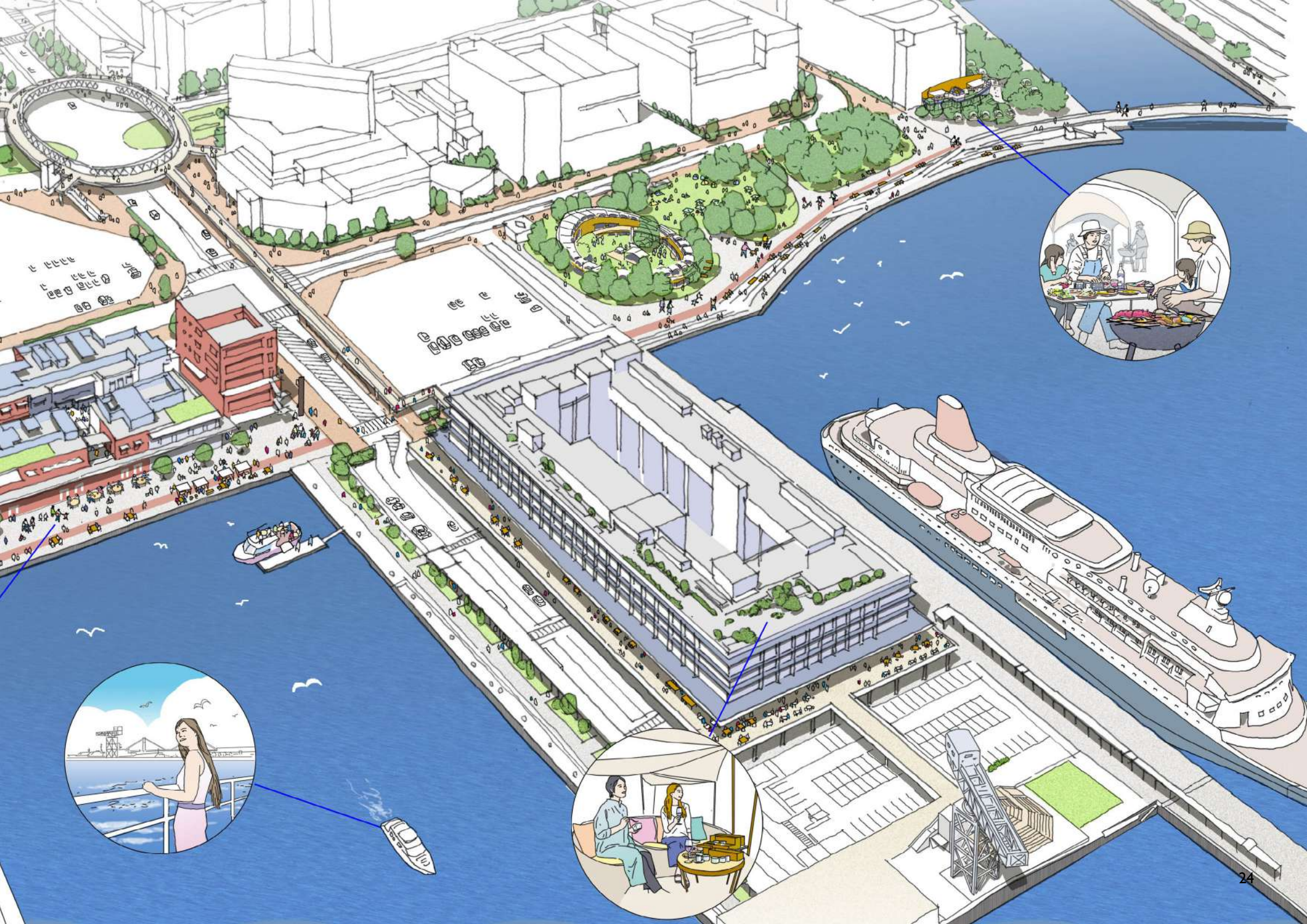
HAMMERHEAD AREA

ハンマーヘッド周辺エリアは、海を身近に感じられる場所に、商業施設や客船ターミナル、ホテルなどの多様な施設が立地する場所です。

新港ふ頭客船ターミナルに停泊するクルーズ船などの横浜らしい景色を見ながらくつろいだり、海と緑に囲まれてグランピングを楽しんだりできる場を創出するとともに、海辺での朝食やモーニングクルーズなど、朝の時間帯を満喫できるコンテンツの充実、オープンテラスやマルシェなどでにぎわう空間の創出により、水際線ならではの多様な体験ができるエリアへと進化させていきます。

※パース画像については、整備イメージとなりますので、仕様やデザイン、位置等は今後変更となる場合があります。





【横浜ハンマーヘッド周辺】



view 2 : 公共空間を活用したにぎわいづくり

【MARINE & WALK YOKOHAMA 周辺】



view 3 : 公共空間を活用したにぎわいづくり



3

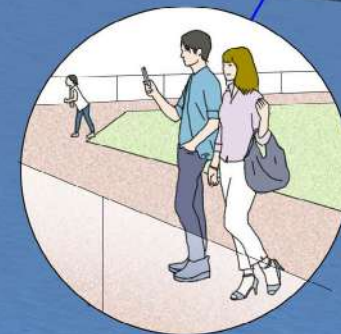
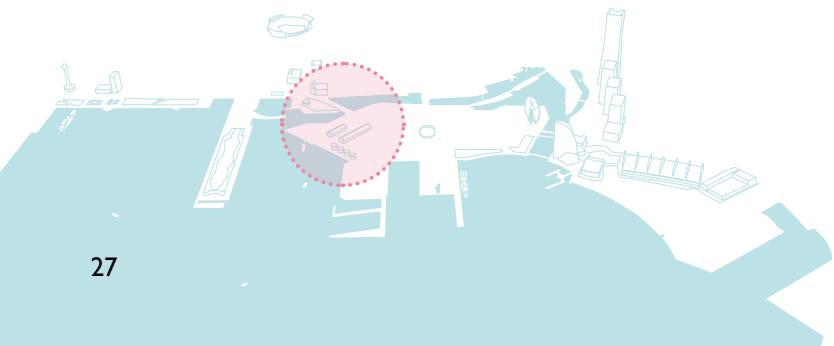
赤レンガエリア

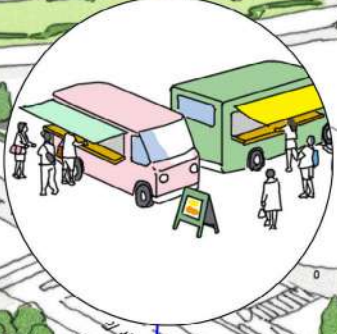
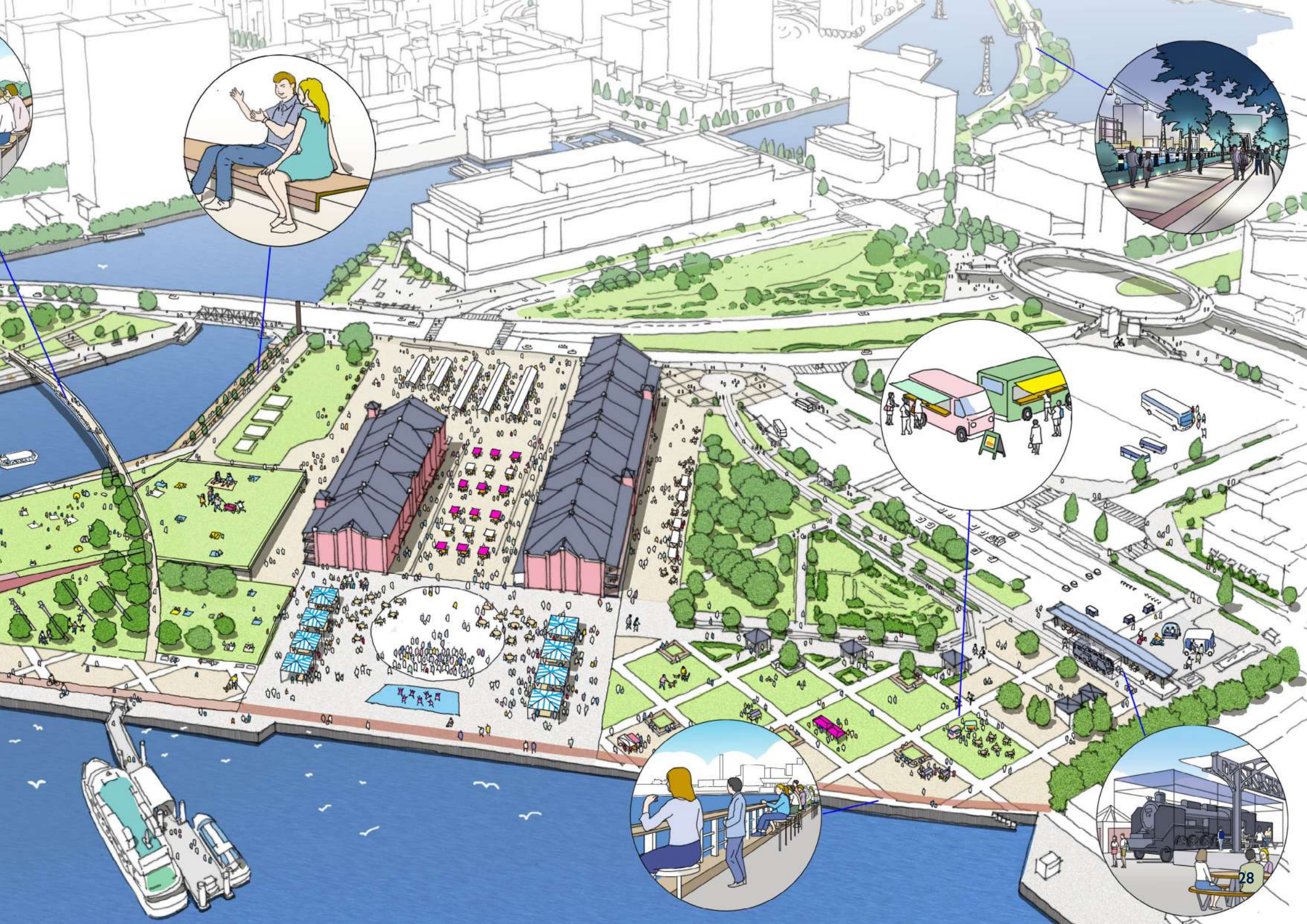
赤レンガエリアは、年間を通して常に多くの人々でにぎわう、水際線随一の集客力を誇る場所です。蒸気機関車の展示など、横浜の近代化の歴史に触れることができる新たな魅力スポットを創出していきます。

さらに、水際線の象徴となる新たなグリーン空間を創出するとともに、赤レンガから象の鼻パークへとつながる、港のパノラマを望めるペDESTリアンブリッジやにぎわい施設を一体的に整備していきます。

赤レンガパークに新たに生まれる魅力的な空間によって、更に多くの人々が足を運びたいエリアへと進化させていきます。

※パース画像については、整備イメージとなりますので、仕様やデザイン、位置等は今後変更となる場合があります。





3. 赤レンガエリア



view 1 : 歴史に触れられる新たな魅力スポットとして再整備





旧横浜港駅プラットフォーム

横浜港駅は新港ふ頭と当時の横浜駅（現在の JR 桜木町駅）を結ぶ「横浜臨港線」として1910年に開通し、東京駅から汽船連絡列車が乗り入れ、国際的な玄関口として重要な役割を果たしていました。現在は赤レンガパーク内にプラットフォームの屋根や構造が復元され、歴史的建造物として保存されており、ベンチに座りながら当時の雰囲気を感じることができます。



view 2 : 海の眺望を楽しめる空間の創出



3. 赤レンガエリア

新たな魅力・集客施設

水際線の象徴となる緑とにぎわい空間の創出

市民や来街者が憩い、昼も夜も港のパノラマを望める抜群のロケーションを生かし、水際線の新たな象徴となる緑と海に包まれた空間を創出するとともに、新たなにぎわい・集客施設も一体的に再整備していきます。





赤レンガパーク

新たなグリーン
の空間の創出

横浜港大さん橋
国際客船ターミナル

キッチンカーの展開

象の鼻パーク

護岸のリニューアル

ペDESTリアンブリッジの整備

view 3 : 赤レンガパークと象の鼻パークの回遊性の向上



4

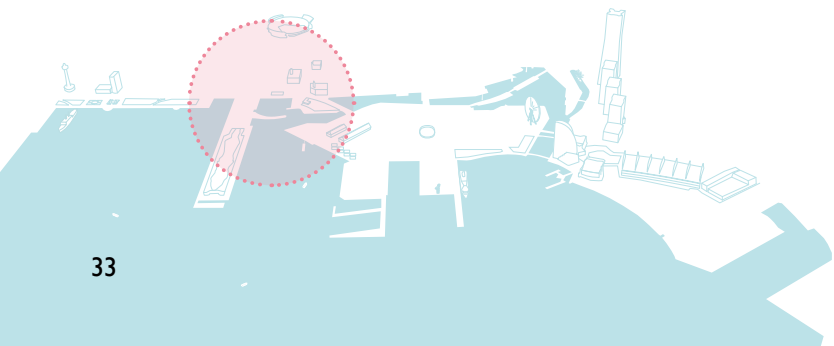
象の鼻エリア

象の鼻エリアは、日本大通りやみなと大通りなどのまちなかを結ぶ道路につながっており、まちや水際線に向かう人々が行き交う場所です。

赤レンガエリアと象の鼻エリアをつなぐペDESTリアンブリッジの整備に加えて、山下臨港線プロムナードから日本大通りや大さん橋へとスムーズにアクセスできるスロープや階段を整備することで、回遊を促進していきます。

また、象の鼻テラスのリニューアルや思わず足を止めたくくなるような魅力的なイベントを展開することで、更に多くの人々を惹きつけるエリアへと進化させていきます。

※パース画像については、整備イメージとなりますので、仕様やデザイン、位置等は今後変更となる場合があります。







view 2 : 周辺エリアへの回遊性の向上

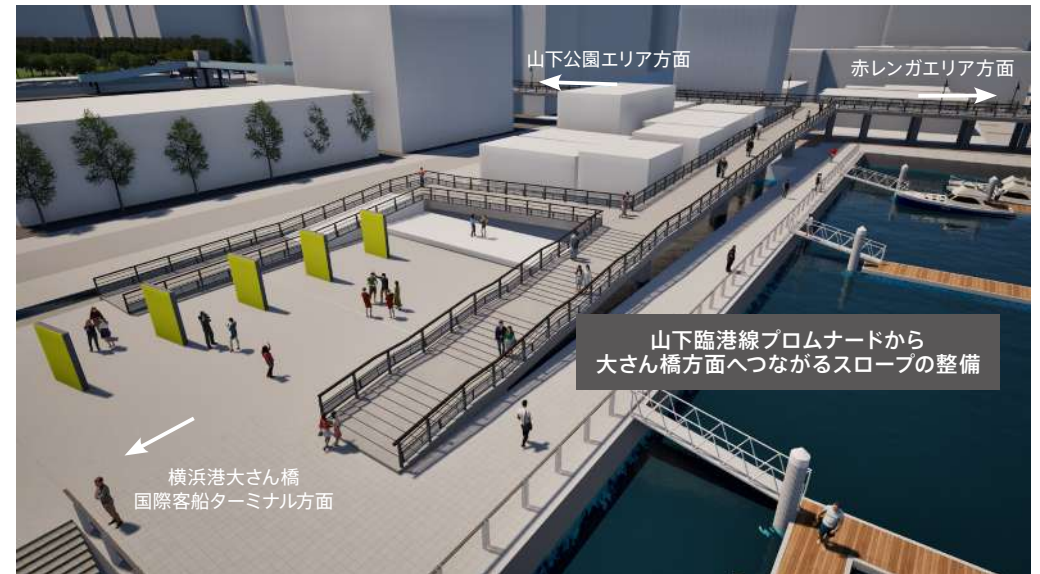


view 3 : 新たな木陰の創出による休憩スペースの整備

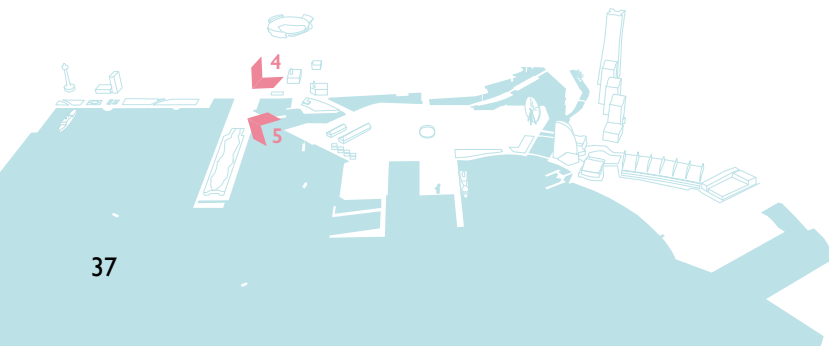
4. 象の鼻エリア



view 4 : 大さん橋方面へのアクセス強化



view 5 : 大さん橋方面へのアクセス強化



魅力スポットの紹介

大さん橋 (横浜港大さん橋国際客船ターミナル)

通称“大さん橋”は、開港以来130年の歴史を誇り、世界各国のクルーズ船が寄港する世界でも有数の客船ターミナルです。

また、市民が誇る横浜港のシンボルとしても親しまれ、「ヨルノヨ」や「大さん橋マルシェ」などのイベント開催時には、多くの来訪者でにぎわいます。

波をイメージした独創的なデザインの屋上「くじらのせなか」からは、横浜ベイブリッジやみなとみらいを一望でき、夜には幻想的な光景が広がります。

クルーズ船を間近で見られる開放的な空間は、普段味わえない「非日常の体験と感動」を味わえるスポットです。



photo: (一社)夜景観光コンベンションビューロー



5

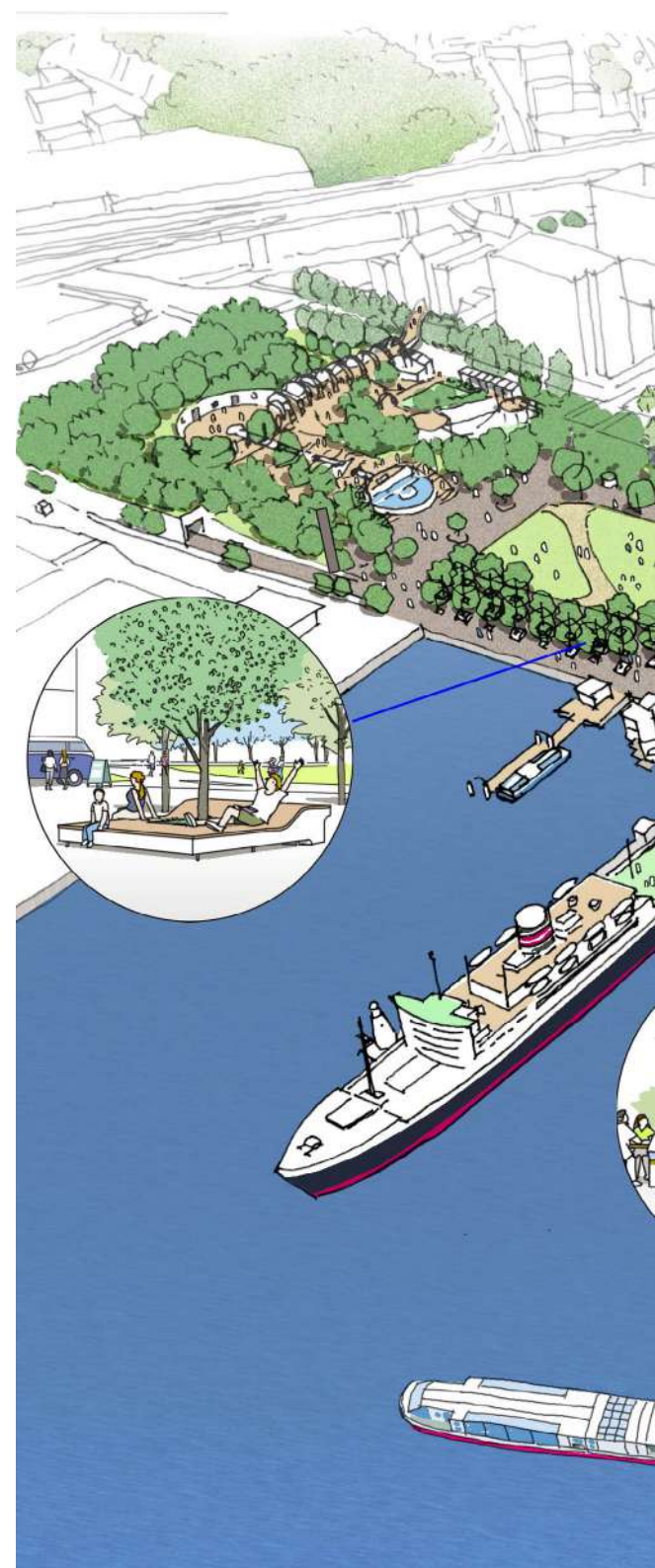
山下公園エリア

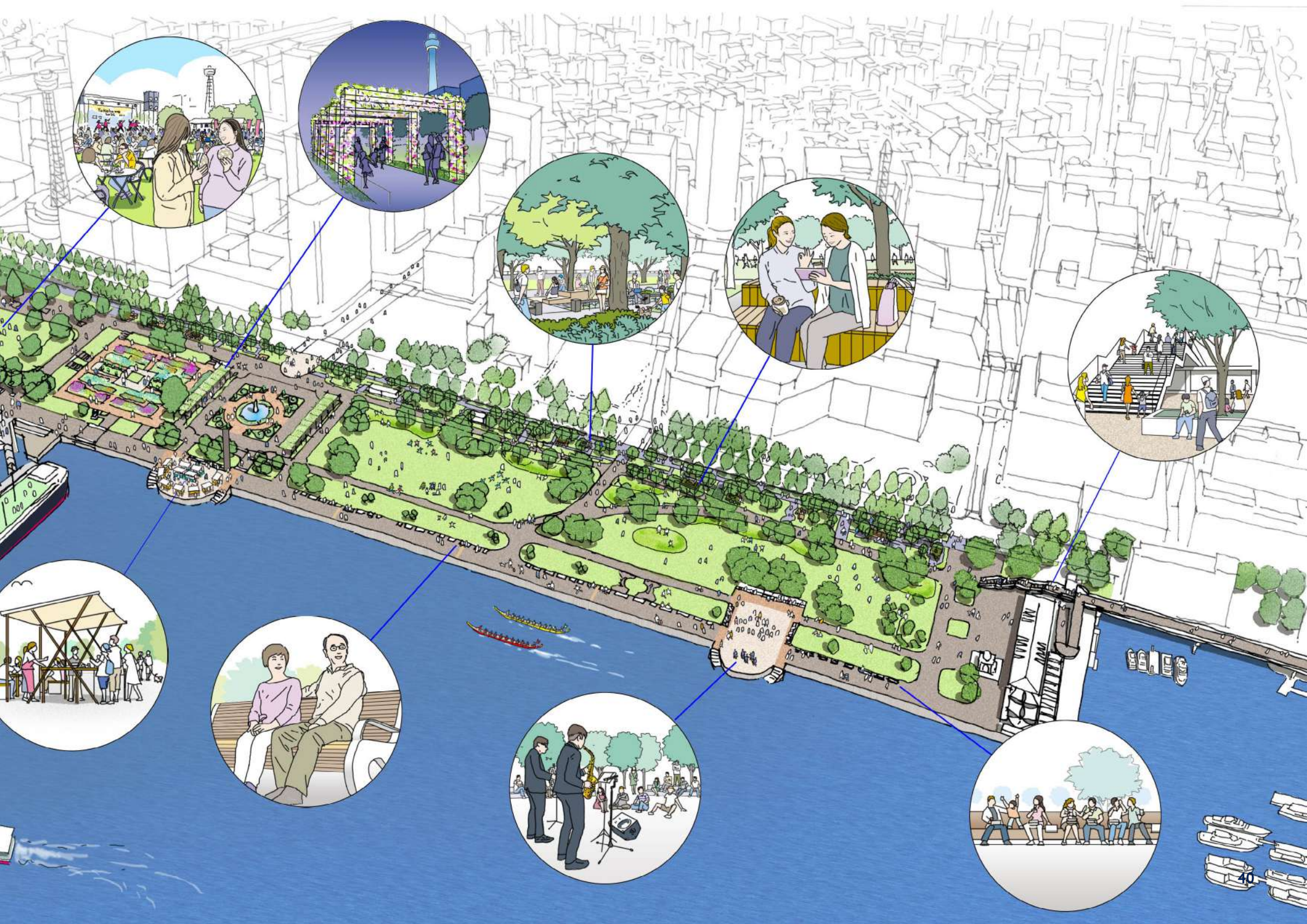
山下公園エリアは、ベイブリッジ、氷川丸を望む港の風景や、山下公園通りのイチョウ並木や歴史的な街並みなど、港町横浜を象徴する場所です。

海への眺望や四季折々の花、山下公園通りの街並み等を楽しみながら、多様な過ごし方ができる空間へとアップグレードするために、公園と道路の一体感を生み出していきます。

多彩なイベントを開催しやすくすることで、多くの来街者を呼び込み、訪れた人々が一日を通して横浜らしさを満喫できるエリアへと進化させていきます。

※パース画像については、整備イメージとなりますので、仕様やデザイン、位置等は今後変更となる場合があります。

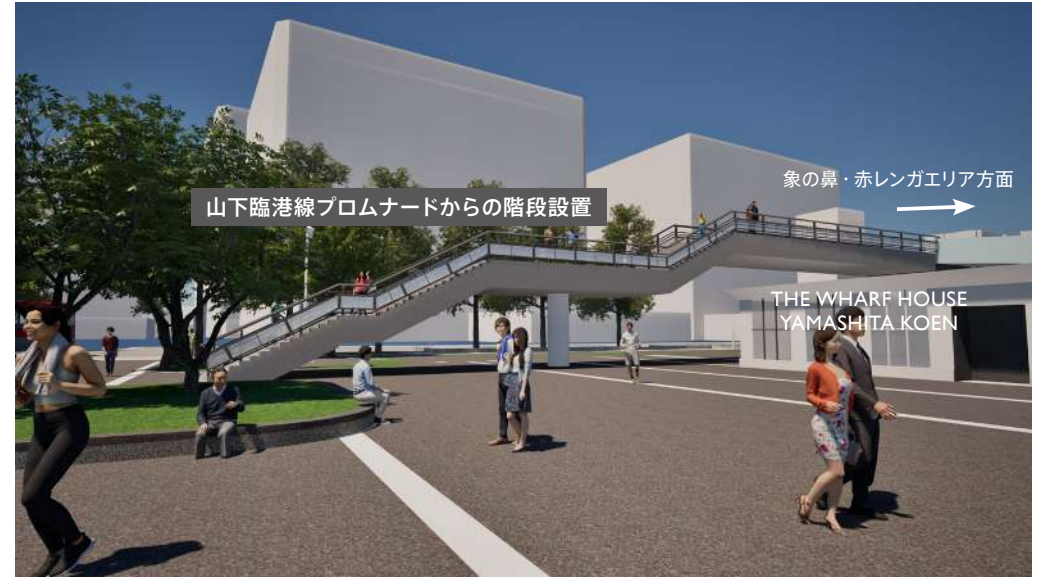




5. 山下公園エリア



view 1 : 象の鼻・赤レンガ方面へのアクセス性の向上



view 2 : 象の鼻・赤レンガ方面へのアクセス性の向上





view 3 : 港町ならではの過ごし方ができる空間の創出

5. 山下公園エリア



view 4 : イベント広場の更なる活用



view 5 : 山下公園通りの街並みも楽しめる滞在空間の創出





ベンチの設置

公園の入口の増設

山下公園通り

view6 : 山下公園と山下公園通りの一体感の創出